



特 輯 情 報

5
特 輯 情 報 ト ハ 在 外 公 館 ニ 情 況 通 報 ノ 目 的 テ 以 テ、
外 務 省 情 報 部 ニ 於 テ 同 盟 通 信 ノ 名 義 ニ ヨ リ、無 線
電 信 ニ ヨ リ 放 送 セ ル モ ノ ニ シ テ、在 外 ノ 主 ナ ル 公
館 ニ 於 テ 受 信 ス ル モ ノ ナ リ。

特輯情報 第八十四號

昭和十二年七月十三日

- 七月十三日午後一時三十分陸軍省發表 七月十一日午後八時支那側第二十九軍代表張自忠、
張允榮ハ蘆溝橋事件現地解決辦法トシテ左記條件ニ署名ノ上コレヲワカ北平特務機關長松
井大佐ニ手交シタ、ワカ方ハ依然事件不擴大ノ方針ヲ持シ十分ナル準備ヲ整ヘツツ支那側
ノ實行ヲ監視中テアル、シカシナカラソノ後ニオイテモ支那軍ノワカ警戒部隊ニ對スル射
擊並ニ蘆溝橋部落ニ對スル侵入ソノ他ノ挑戰的行爲ノ頻發ヲ見ツツアルコトハ頗ル遺憾ト
スル所テアル、此ノ如クシテ事態力更ニ擴大スルニ至ルコトアルモ其責任ハ一一支那側ノ
負フヘキコトハ明カテアル
- 蘆溝橋事件解決條件ノ概要(一)支那軍ハ蘆溝橋域廓及ヒ龍王廟ニ駐軍セス該地ノ治安ハ保
障ヲ以テ維持ス(二)第廿九軍代表ノ陳謝、責任者ノ處罰、將來ノ保障ヲナスホカ本事件ヲ誘
發セシ藍衣社、共產黨ゾノ他抗日各種團體ニ對シ適切ナル對策及ヒ取締ヲナス
- 十三日ノ定例閣議ハ近衛首相微恙ノ爲メ缺席ノ外全閣僚出席
- 一十五日地方長官會議開催

等ヲ決定、更ニ杉山陸相ヨリ左ノ如キ軍ノ見解ヲ披瀝シタル後、我力方ノ既定方針ヲ飽ク迄堅持スル旨ノ申合セラ行ツタ

「現地ニオイテ出先駐屯軍ト冀察政權トノ間ニ交渉成立シタカ相手方ノ不履行爲ハ度重ナツテキルノテ俄カニコレノミヲ信スルコトハ出來ス、要ハ今後ノ實行如何ニカカル力サラニコレニ對シテ南京政府カ如何ナル態度ヲ持シテ來ルカヲ嚴重監視セネハナラヌ、テ陸軍トシテハサキニ決定セル帝國不動ノ方針ヲ飽クマテ堅持シテ對處スル」

尙閣議散會後廣田外相ハ、宮中ニ參内、天皇陛下ニ政府今後ノ外交方針ニ就キ委曲奏上シタ

○支那軍ノ一部ハ十二日モ依然八寶山、衙門口一帶ニ在リテ撤退ノ模様ナク、蘆溝橋北方高地ニ殘留ノ我力方監視部隊ト對峙中テアルカ、彼我ノ距離接近シ衝突ノ危險性力多分ニアルノテ、十二日午後日支双方折衝ノ結果支那部隊ヲ先ツ西苑ニ復歸セシメ、次イテ我力方モ後退スルコトニ決定右實行ノ爲メ馮治安ハ其ノ副師長ヲ我力方ハ櫻井少佐ヲ現場ニ派シ、夫々右撤退ノ方針ヲ講シタカ十二日午後八時廿分ニ至リ八寶山、衙門口一帶ノ支那軍ハ移動ヲ開始シ、九時迄ニ全部西苑ニ撤退シ了シタ模様テアル

○十三日ノ都下各紙ハ一齊ニ北支事變ニ對スル我力方ノ態度ニ關スル社説ヲ掲ケ、何レモ今

次事變ノ緣因ノ遠ク且ツ深キ點カラ見テ尋常一樣ノ手段ニ依ル解決ノ絶望ナルコトヲ指摘シ、更ニ事變發生以來採り來ツタ政府ノ措置ヲ全幅的ニ支持シ、國內ノ相モ一朝有事ノ際ニハ雲散霧消シテ舉國一致ノ實ヲ舉クル我力國ノ傳統的精神ヲ讚美シテキルカ、特ニ東京朝日新聞ハ次ノ如ク述ヘ日支關係打開ノ外科的手術ヲ要望シテキル

吾人ノ感情ヲ率直ニ云ヘハ、我々ハ最早ヤ支那トノ氣マヅイ關係ニ辛抱力出來ナイ、コノ猶疑ト曲解ノ妖雲ヲ拂ツテ、コノ鬱陶シサカラ何トカ免レ度イ、天ノ一方ヲ望ミ一雨來レト願フ有様テアル、其ノ氣持ハ恰モ雨降ソテ地固ルコトヲ望ム心テアル、併シ醜ツテ思フニ、斯ノ如ク切迫シタ情勢カラ生レタ對立テアルカラ、吾人ハ驟雨一過、青天白日ヲ仰キ見ル時期ノ必ス到来スルト云フコトヲ信シ、而シテコレヲ期待スルノ餘リ眼前如何ナル困難ヲモ排除スヘシトスルノテアル、蓋シ最後ノ目標タル東亞ノ安定、善隣ノ兄弟日支兩國ノ握手提携ヲ達成スル爲ニ眞ニ已ムヲ得サル段階ニ外ナラヌト信スルカラテアル

2 ○ 同盟通信ニ據レハ其後ノ支那ノ軍事行動概況左ノ如シ

一、十二日國民政府ハ軍事上緊急必要ニ應シテ軍需品及ヒ勞力ヲ徵發シ得ル旨規定セル軍事徵發令ヲ公布シタ

二、十二日何應欽ヲ中心トスル國民政府軍事委員會秘密會議ニ於テ、直系ハ固ヨリ傍系中央軍ニ至ル迄即時出動シ得ル様動員命令ヲ發スルト共ニ次ノ如キ方策ヲ決定シタ

イ、今次事件ハ相當長期ニ亘ルカラ共產軍ト共同動作ヲトルコト

ロ、甘肅ニ在ル共產軍ハ逐次綏遠ヲ迂廻シ察哈爾ニ進出、熱河北平間ノ日本軍後方連絡線ヲ強襲スル

三、十二日夜カラ上海北停車場ニハ解体セル飛行機ヲ滿載セル軍用トラック六十臺杭州ヨリ到着、南京方面ニ急送サレテキル、徐州ニハ中央軍飛行機ノ大部隊集結中テ、津浦線北部各地ニハ日本ノマークヲ附シタ戰鬪機力飛來シ、更ニ中央軍飛行機一部ハ十二日北平南苑飛行場ニ到着シタ

四、國民政府軍事委員會ハ十二日夜閻錫山、傅作義ニ對シ平綏沿線集結ヲ命令シ、他方韓復集ニ對シテモ山東死守ヲ電命シタノテ、韓以下山東將領ハ直チニ膠濟、津浦兩線ニ沿フテ「トーチカ」ノ増築ヲ開始シタ

五、萬福麟軍ノ前衛裝甲中隊ハ十二日夜長辛店ニ到着、主力ハ涿州ニ進出中鄭州、開封ニ在ツタ馮占海、商震及劉峙軍ノ一部隊モ十三日早朝北上開始シタ、目下徐州、鄭州ヲ中心ニ津浦、平漢兩線ハ軍事輸送ニ忙殺サレ中央軍ハ河南省北部省境ニ續々集結中ト云ハル

六、對日作戰本據ハ洛陽ニ決定セルモノノ如ク、既ニ飛行機三、四十臺同地ニ到着

七、蔣介石ハ宋哲元ノ要求ニ應シ十二日中央銀行ヲ通シ軍費二百萬元ヲ支給シタト、ソノ結果宋モ日本トノ一戰ヲ決意シ十二日夜部下各將領ニ開戰準備ヲ命シ、馮治安ノ第三十七

師ハ拾三日北平城外ニ集結戰鬪體形ヲ採リ中央軍增援ノ至ルヲ待ツテキル

○、北支事變ノ勃發ト共ニ北平ニ於ケル支那官憲ノ邦人ニ對スル不法行爲ハ隨所ニ頻發シテヰルカ、顯著ナル事實ヲ擧ケレハ次ノ如クテアル

一、不法拉致事件

イ、七日夜綏靖公署ノ北門通行證所持ノ我力憲兵二名西苑附近テ捕ヘラレ未タニ釋放サ

レス

ロ、十日公安局員十五、六名邦人婦人ノ止宿先キニ侵入、同人ノ下顎部ニ銃創ヲ與

ヘ現金千三百餘圓及家財ヲ掠奪ス

ハ、同日西直門外ノ邦人六名行方不明トナル

ニ、十一日夜朝陽門外テ邦人一名暴行ヲ受ケ人事不省トナリ所持金全部強奪サル

三、戒厳ニヨル對日壓迫

イ、戒嚴ノ目的ハ對日的テ、清華、燕京大學々生ノ抗日侮日ノ民衆煽動ニ對シテハ何等ノ取締ヲ行ハス

ロ、日本所管區域タル東單牌樓市場ニ防禦施設ヲナシ又同所東北端ニ機關銃陣地ヲ隱蔽構築ス

尙ソノ他邦人ノ「ガソリン」、食料等ノ購入ニ對シ支那人ハ當局ノ不賣指令ニ基キ賣リ滌リヲナシ、明カニ經濟的「ボイコット」ヲ行ツテキル、加藤書記官ハ十三日秦德純市長ニ對シ重ネテ邦人居留民ノ生命財產ノ保護ニ就キ支那側ノ保證ヲ要請シタカ、邦人ノ不安ハ刻々ニ募リ、既ニ滿鐵社員ノ家族ノ如キ全部引揚ヲ決行シタ

○協定ヲ無視シ屢々我力部隊ニ不法射擊ヲ試ミタ現地支那部隊ハ左ノ如キ同志討ヲ演シ無統制振リヲ發揮シテキル

一十一日午後西苑部隊ノ支那兵一團二百名南下シ八寶山ニ本據ヲ置キソノ前線ハ衙門口、東辛庄ニ及ヒタルヲ以テ事態防止ノ爲午後八時頃蘆溝橋ニ在リタル第二十九軍周參謀ヲ派遣シタルニ、白旗ヲ掲ケ居リシニ拘ハラス支那軍ハ味方ノ參謀ニ對シ射擊ヲ行フ

二、同午後十時二十分衙門口ノ支那軍一部龍王廟マテ進出シタル處、永定河西岸ノ支那軍ハ之ヲ日本軍ト誤認シ射擊ヲ開始シ、龍王廟部隊コレニ應シ永定河ヲ挾ミ同士討ヲ行フ

三、十二日午前一時四十五分東辛庄ノ支那軍風聲ニ驚キ射擊開始、八寶山、衙門口ノ部隊ニ波及シ迫擊砲ヲ交ヘ猛射シタカ午前三時頃又モヤ同様ノ事態ヲ發生セリ、

○天津同盟　十三日午後三時半支那駐屯軍司令部發表—本日午前十一時頃馬村（北平ノ南方一キロ）ヲ我力軍ノ小部隊自動車ニテ通過中突如支那側部隊ヨリ小銃、機關銃ノ射擊ヲ受ケ、我軍ハ直ニ之ニ應戰、擊退ス、日本軍戦死者三名、支那側ニハ相當ノ死傷者アル見込

○北平同盟　支那側情報ニ依ルト鑑ニ蘆溝橋ヲ撤退シタ支那軍ハ誓約ヲ無視シ十三日再ヒ宛平縣城ニ入ツタト傳ヘラル

南京放送（十四日） 熊本遞信局傍聽

昭和一二・七・一五
情報委員會

一時事素評（世界ノ危機ト我國増兵制度ノ實施）

第一次歐洲戰爭後各帝國主義國ハ服務精神ヲ破壊シ國際會議モ要ヲ
ナサズ、日本ノ大陸政策、伊太利・エチオビア戰、米國ノ極東海軍
根據地、英ノシンガポール要塞等皆第二次ノ世界戰發生ノ危機ヲ思
ハセルモノデ第二次世界戰ハ寧ロ可能デアリ目前ニ迫ツテ居ル我國
ハコノ危機ノ眞只中ニアルノデアル、我國民ハ速ニ起ツテ擁護ヒヨ、
國防ヲ強固ニヒヨ、舉國一致増兵制度ヲ實施セヨ、精兵ハ平時ハ農
ニ親ミ有事ノ際ハ兵トナルノデアル、兵トナルハ、、、、ヲ擁護スル
モノデアル、以前ノ戰ハ兵ノ戰爭デアツタガ、現在ハ國民ノ戰爭デ
アル、日本ハ平時二十三萬ノ兵ヲ有スルガ、動員スレバ三百萬トナ

6